

M32C/80, M16C/80, M16C/70シリーズ用 エミュレータデバugga リリースのお知らせ

以下の4種類のM32C/80, M16C/80および M16C/70シリーズ用エミュレータデバugga を発売しました。

- M32C PC7501エミュレータデバugga V.1.00 Release 00
- M32C PC4701エミュレータデバugga V.1.00 Release 00
- M32C コンパクトエミュレータデバugga V.1.00 Release 00
- M32C FoUSB/UARTデバugga V.1.00 Release 00

1. 概要

本エミュレータデバuggaは、統合開発環境High-performance Embedded Workshop V.4.00.03*
上で動作します。

* 従来の統合開発環境TMおよびエミュレータデバuggaM3T-PDxx
やKDxx (以下 PDデバuggaと略す) の特長ある機能を取り込み、
ルネサスとして統一されたユーザインタフェースを提供しま
す。V.4.00.03の詳細は、10月1日発行の RENESAS TOOL
NEWS "High-performance Embedded Workshop V.4.00.03
へのリビジョンアップのお知らせ"(資料番号 : RSO-HEW-
051001D) を参照ください。

各製品の詳細についてはデータシートを参照ください。

2. 機能

各デバuggaは、それぞれ以下のPDデバugga相当の機能を持ちます。

- M32C PC7501エミュレータデバugga
PC7501エミュレータ用デバuggaM3T-PD308F (M32C/80およびM16C/70シリーズ用)
- M32C PC4701エミュレータデバugga
PC4701エミュレータ用デバuggaM3T-PD308 (M32C/80およびM16C/80シリーズ用)

注 :

本デバッガではPC4701U, PC4701M, PC4701HS, およびPC4700Hエミュレータをサポートしています。

PC4701LおよびPC4700Lエミュレータはサポートしていません。

- M32C コンパクトエミュレータデバッガ
コンパクトエミュレータ用デバッガM3T-PD308MF (M32C/80シリーズ用)
- M32C FoUSB/UARTデバッガ
M3A-0665 (FoUSB/UART) エミュレータ用デバッガKD3083 (M32C/80および M16C/80シリーズ用)

2.1 PDデバッガとの相違点

- (1) High-performance Embedded Workshopを使用したデバッグが可能です。またこれにより、統合開発環境下でコーディング、ビルド、シミュレーション、およびデバッグの作業がシームレスに実行できます。

補足：

V.4.00.03環境下で使用するデバッガでは、ターゲットマイコンに関わりなくレジスタおよびメモリなどの基本デバッグウィンドウを同じ操作性で統一しています。(個々のエミュレータに依存するトレース機能やハードウェアブレイクなどのウィンドウは、従来のM3T-PDxxやKDxxの操作性を維持しています。)

3. 動作環境

ホストコンピュータ	IBM PC/AT互換機
OS	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, およびWindows 98SE

4. 注意事項

- (1) 各デバッガで、PDSDK COMキットで作成したアプリケーションを使用する場合、PDデバッガとの相違点は、RSOツール技術サポート窓口：csc@renesas.comまでお問い合わせください。
- (2) 各デバッガは、キャッツ社製CASEツールZIPCと組み合わせて使用できません。ZIPCと使用する場合は、各エミュレータ用のPDデバッガを使用ください。
- (3) 各デバッガでは、CB (Custom Builder) で作成したコマンドおよびウィンドウは動作しません。

5. PDデバuggaで発生していた制限事項の改修

各デバuggaには、PDデバuggaで発生していた以下の制限事項はありません。

- (1) 可変ベクタテーブルを奇数番地に配置したプログラムを実行し、MRトレースウィンドウで計測結果を表示した場合、MRトレースウィンドウおよびMRアナライズウィンドウにシステムコール発行履歴が表示されず、その他の情報も不正な計測結果が表示される。
詳細は2004年5月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-PD308FおよびM3T-PD30F ご使用上のお願い" (資料番号：RSO-M3T-PD308F-040501D) を参照ください。
- (2) 付属のユーティリティSetIp.exeを使用したとき、エミュレータにIPアドレス等を設定できないことがある。
詳細は2004年6月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30F, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38ご使用上のお願い" (資料番号：RSO-M3T-PD308F-040601D) を参照ください。
- (3) Cウォッチウィンドウで構造体、共用体、クラス、配列、およびポインタを展開すると、エミュレータデバuggaがハングアップすることがある。
詳細は2004年8月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-PD32RM, M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30F および M3T-PD30ご使用上のお願い" (資料番号：RSO-M3T-PD32RM_1-040801D) を参照ください。
- (4) Cウォッチウィンドウで構造体、共用体、構造体配列または共用体配列のグローバル変数を展開すると、エミュレータデバuggaが異常終了することがある。
詳細は2004年9月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-PD32RM, M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30F および M3T-PD30ご使用上のお願い" (資料番号：RSO-M3T-PD32RM-040901D) を参照ください。
- (5) Cウォッチウィンドウを使って変数をRAMモニタ表示した場合、正しい値が表示されないことがある。
詳細は2004年12月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-PD308F, M3T-PD30F およびM3T-PD30MFご使用上のお願い" (資料番号：RSO-M3T-PD308F-041201D) を参照ください。
- (6) RAMモニタ領域設定ウィンドウでRAMモニタ領域の設定内容を変更した時に、ウィンドウの表示内容と実際に設定されている内容とが一致しなくなり、以後正常に動作しない場合がある。
詳細は2005年2月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "エミュ

レータデバッグ M3T-PD308MF, M3T-PD308F, M3T-PD30MF, M3T-PD30FおよびM16Cデバッグ パッケージご使用上のお願い" (資料番号: RSO-M3T-PD308MF-050216D) を参照ください。

6. 入手方法

以下のダウンロードページからダウンロードしてください。

日本語版:

- M32C PC7501エミュレータデバッグ
- M32C PC4701エミュレータデバッグ
- M32C コンパクトエミュレータデバッグ
- M32C FoUSB/UARTデバッグ

注: 本製品と使用するM3A-0665 FoUSB は2007年12月で保守製品 (生産終了品) になりました。

必要な場合は、後継品 E8a をご使用ください。

英語版:

- M32C PC7501エミュレータデバッグ
- M32C PC4701エミュレータデバッグ
- M32C コンパクトエミュレータデバッグ
- M32C FoUSB/UARTデバッグ

注: 本製品と使用するM3A-0665 FoUSB は2007年12月で保守製品 (生産終了品) になりました。

必要な場合は、後継品 E8a をご使用ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。